

さんけん新聞

発行
NPO法人
三段峡-太田川
流域研究会
(代表・本宮炎)

〒731-3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木1734
090-3421-3046

県立文書館「開峡百周年 三段峡の歴史と自然」展／頼山陽史料資料館

2館を見学 文書保存の大切さ実感

さんけんと安芸太田町里山ガイドのメンバー、町商工観光課河野正明主査の十二人が二月二十八日、広島市中区の県立文書館で開催中の収蔵文書紹介展「開峡

百周年 三段峡の歴史と自然」と同区の頼山陽史料資料館を見学した。重要性を指摘した。意見交換で里山ガイドから、「三段峡は見えない世界の歴史から入るのが相応しい」「ガイドのときセピア色の写真があれば印象に残る」

三段峡展では江戸期の文献や熊南峰撮影の絵葉書、斎藤露翠の教員名簿、名勝指定の関連文書、観光パンフなどを展示。三月十七日まで、日、土曜午後休館。展示を企画した荒木清二主任研究員の説明を聞き、意見交換した。荒木氏は「美術館とは違い、収蔵文書を利用してもらうための展示が文書館の役目」と活用を呼びかけ、「庁舎の移転や原爆によって、広島には文書類があまり残っていない。横川小学校沿革史はコピー



荒木主任研究員(左)の説明を聞く参加者

まで、日、土曜午後休館。展示を企画した荒木清二主任研究員の説明を聞き、意見交換した。荒木氏は「美術館とは違い、収蔵文書を利用してもらうための展示が文書館の役目」と活用を呼びかけ、「庁舎の移転や原爆によって、広島には文書類があまり残っていない。横川小学校沿革史はコピー

迫る 厳冬造形

筒賀・龍頭峡二段滝が結氷



厳しい冷え込みが続いた今冬、落差三八尺の筒賀・龍頭峡二段滝が結氷した。(二月十二日、本宮炎理事長が撮影)

南峰と歩く ⑦

青立(あおだち)

二條の奔流渦巻き 山容揺るがす

全国で三段峡ほど景勝名が多い渓谷はないだろう。川の屈曲の多さ、清澄さ、岩の節理の細かさ、植生の多様さから生じる「圧縮的」な景観と熊南峰が実質的な開発プロデューサーだったのが要因と考えられる。

元軍人で写真師のイメージ

民俗的名称を採用

元来の研究熱心さによって、三段峡の美の特徴を理解したのが、多くの景勝の誕生に繋がったと思われる。南峰は約五十の景勝があるとす

たはずだが、関与を公言してはいない。当時の常識だった文人的な漢語名は付けず、取材として民俗的な名称を採用し

看板もある。削り残された岩塊を挟み込むように「大」小二條の奔流が淵に注いで渦巻きつつ、投影せる山容を揺るがしている風情、また捨て難い」と南峰は記す。景勝名が付いている場所ほど、空間全体をじっくり鑑賞したい。(松尾俊孝)

一口メモ

▼淵青く清冽

春になり、雨水と雪解け水で増水した溪水は、青みがかり、透明度を増す。三月、探勝路にはまだ雪が残り、入峡は勧められない。清冽な淵が見られるのは芽吹き前、四月下旬

聞く会

記録閲覧へ協力約束

三段峡開峡に尽力した横川小学校教諭の斎藤露翠に教えを受けた、安芸太田町柴木の堂河内福夫さん(八八歳)から二月二十四日、本宮炎理事長らさんけんメンバー四人が、露翠の人柄や当時の暮らしぶりを聞いた。「聞く会」には、堂河内さんと同じ郷土史研究会員で同町上殿の山下幸作さん(九〇歳)が同席した。



露翠の人柄などを聞いた堂河内福夫さん(左から二人目)と山下幸作さん(同三人目)

結婚の際、手紙と和歌を贈られた堂河内さんは「先生はいつも何か書いていた」と話し、「三段峡開峡史」をまとめた露翠の面影を浮かび上がらせた。

堂河内さんは北広島町大朝の斎藤家へ残る露翠の記録を閲覧できるように、協力を約束された。松尾俊孝理事は「膨大な日記を解き明かせば、民俗学的にも貴重な資料になる」と期待を込めた。

組織基盤強化のセミナーを受講

国際協力機構(JICA)中国国際センター主催のセミナー「組織基盤強化コース」を二月二十四日、本宮宏美事務局長と小林久哉理事が受講した。「問題解決のストーリーを考える」「人を巻き込むコツ」など、九月までは手分けして受講する。

集まれ!!さんけん会員

開峡清掃ボランティア参加者募集

- 4月15日(日)10時~
- 三段峡正面入り口集合
- 問い合わせ・申し込み ☎090-3421-3046=本宮

の渓谷開き後になる。足元ではミスミソウやマカタブミなど、春を告げる花々が出迎えてくれる。

人が集まり リーダーに

本宮 炎さん

この人



父の代からの陶芸家。9年前、妻の郷里・広島に移住して、筒賀の龍頭峡入口にある「交流の森木工陶芸館」で創作に励んでいた。三段峡に魅せられたきっかけは、高下務さんとの出会いだった。三段峡へ寄せる思いと熱意に引き込まれた。水墨画のような景観、ルーペで見る隠花の世界も彼を虜にした。

三段峡憲章を起草したメンバーとの出会いがさらに追い打ちをかけた。「組織を作っちゃえば」「一緒に研究しよう」と後押しされ、さんけん理事長に就任した。温かく、個性的な人達に囲まれ、逃げられない人である。(宏)